

進路だより 2025

第 19 号

2025年 9月 12日 (金)

沖縄県立真和志高等学校

進路指導部

沖縄国際大学と県立芸術大学へ進学した元真和志高校卒の大学4年生が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを実施！教育実習生としてまた真和志に戻ってきたイマ！真和志卒だからこそ伝えたい内容を沢山お話してくれました。



「より強く、進学したいと思えた」
受験生にとって大切な時間になった

2022年3月に卒業し、沖縄国際大学と県立芸術大学へ進学した元真和志生徒。教育実習生として戻ってきたイマ！トークイベントを実施！



本当に大人になったと思う！！

教育実習生としてまた真和志に戻ってきた3名。県芸へ進学した元クリエイティブの生徒は、元教科担任の先生がまだ真和志高校で勤務されており、思い出話をしていました。昔とは違う。そう感じさせてくれる大人になっていたそうです。

沖縄国際大学（国語）と県立芸術大学（陶芸、漆芸専攻）へ進学した元真和志の卒業生が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを実施。教育実習生としてまた真和志に戻ることができて嬉しい。だからこそ、いまの高校生に伝えなくちゃいけない。真和志の生徒だったから分かる、大学生の視点、をぶっちゃけトークで語っていただきました。

自分達がいた頃とイマの真和志高校は雰囲気が違う。そう感じている実習生3人。たった4年しか時は経っていないはずなのに、遅刻や欠席の多さや、スマホとの付き合い方に疑問を抱きます。就活をしている4年生だからこそ、「透明ピアスも駄目な場合がある。夢を目指すなら、おしゃれを控える必要がある」など、高校生とは違う社会のルールを強く語っていました。

また、受験に向けて高校生活で頑張ったことについて、3名とも部活についてお話ししてくれました。「私は県芸に進んだけど、美術部だけじゃなくて囲碁部でも活躍して賞をいっぱいもらった。面接の時に囲碁について聞かれ、注目してもらったこともある」と様々な経験を得ることをアドバースする一方、「書道部としてずっと頑張っていた。一貫した行動が評価される場合もある」とやり抜く意思の強さも必要だと話していました。

「大学は向上心がないと」「入学前と4年生で想いは変わらない。大学は夢への通過点」

沖縄国際大学と県立芸術大学
へ進学した先輩と話そう

mawashi high school

教育
実習生